

# 東京農業大学と共に（昭和28年－昭和61年）33年の歩み



（厚木キャンパス）

なつかしい黒猫荘（2017年11月30日撮影）

総務課 澄川氏提供



ここで「畜産人工授精師」を養成  
（夏季と冬期休暇中）

人工授精師として約1300人を養成する

昭和28年 ～ 昭和61年

非常勤講師 農大教授定年退職

## 丹羽文庫（T.N文庫）について

丹羽太左衛門所蔵の畜産・獣医関係の図書、文献、学術誌、試験研究報告、国際学会議報告、国内関連資料等は東京農業大学図書館内の丹羽文庫（T.N文庫）に寄贈収納されています。閲覧ご希望の方は同大図書館（下記）へお問い合わせください。

（収納冊数、平成16年3月10日現在 3,153冊です）。

〒156-8502 東京都世田谷区桜丘1-1-1  
東京農業大学図書館・情報運用部  
TEL. 03-5477-2528、03-5477-2591

『Polge博士』 特別講演 そして 父の海外講演

旧東農大 図書館前にて

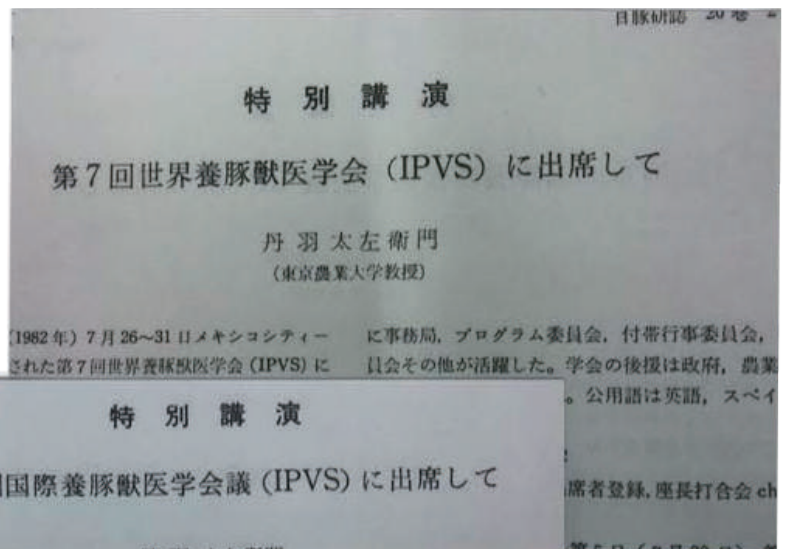


写真（桑山岳人先生及び総務課 澄川氏提供）

ケンブリッジ大学Polge博士の特別講演（右は Mrs. Polge）  
Polge博士は第8回日本国際賞を受章されました（凍結精液の創始者）



東京農業大学学旗



昭和59年(1984年)8月27日～31日ベルギー国ゼントにおいて開催された第8回国際養豚獣医学会議 (IPVS) に出席したのでその概要を報告する。

1. この国際学会議の歩み

この国際会議は第1回(1969年)が英国のケンブリッジ、第2回(1972年)が西ドイツのハノーバー、第3回(1974年)がフランスのリヨン、第4回(1976年)が米国イオワ、第5回(1978年)がユーゴスラビアのザグレブ、第6回(1980年)がデンマークのコペンハーゲン、第7回(1982年)がメキシコのメキシコシティで開催された。

4. 学会の日程と内容

第1日(8月27日): 出席者登録, 18:30 宴会, 19:00 レセプション。

第2日(8月28日)～第4日(8月30日) 会場別の内容は表1のとおりであった。

第2日(8月28日) 9:30 開会式, 10:00 (2題)が行われ, 13:30から, 6会場に分かれて78題, 19:00 歓迎懇親会。

第3日(8月29日) 8:30～17:15 6会場

# 「海外の大学・学会との交流と父の思い出」

父の思い出 田中一榮先生から

## 丹羽太左衛門先生との思い出

丹羽先生が岩手大学から東京農業大学へ赴任されたので、日本養豚研究開始の編集を手伝うことになり、先生のご指導のもとで長年にわたり、旧農水省畜産試験場に引き継ぐまで頑張りました。その間に先生より多くの教えを賜ったことを感謝しております。

また、先生は学問に国境はないと言われ、台湾との日華養豚研究や、中国の農業科学畜牧研究所及び韓国畜産学会などとの交流にも尽力されました。

なお先生は、地方の学会などには「奥さんを同伴するように」と言われ、私もできるだけ夫婦で参加したことを感謝しております。

丹羽先生との思い出は尽きませんが、ご恩に対し衷心よりお礼申し上げます。

田中 一榮

前列右 韓国産畜学会会長  
鄭 英彩 教授  
忠南大学畜産学科



(写真) 田中一榮先生提供





中国農業科学院（CAAS）  
畜牧研究所  
鄭 不留 所長

（左から二人目）



（中央）



国立台湾大学農学部畜牧学科  
宋 永義 教授

真ん中が宗先生ご夫妻

（写真）田中一榮先生 提供

慶事「東京農業大学（100周年記念）」…そしてさらなる発展を願って



東京農業大学創立100周年記念写真集より  
(図書館より進呈 畑川氏)

総括コメント／杉 二郎(東京農業大学名誉教授)

## 大学等の非常勤講師（兼職）

1. 千葉高等園芸学校（のち千葉農業専門学校と改称、畜産学担当、現千葉大学園芸学部、昭和 14 年度～22 年度）
2. 宇都宮大学（農学部、隔年、昭和 37 年度～63 年度）
3. 岩手大学（農学部、昭和 41、42 年度、農学部および大学院農学研究科、昭和 56 年度～61 年度）
4. 富山大学（教育学部、昭和 42 年度）
5. 帯広畜産大学（畜産学部、昭和 43 年度）
6. 山形大学（農学部、昭和 56 年度）
7. 東京農業大学（農学部畜産学科、昭和 28 年度～55 年度）
8. 農林省農業者大学校（昭和 46 年度～48 年度）
9. 岩手県立農業短期大学校、岩手県立六原宮農大学校、岩手県立短期大学校（昭和 43 年度～55 年度）

「丹羽太左衛門の略歴と業績」より